

追補 全経簿記上級 過去問題集 出題範囲の改訂箇所の変更について

1. 概要

2019年3月22日に全経簿記試験を主催する全国経理教育協会より、2019年4月以降の試験から「社債発行差金勘定」を出題範囲より削除する旨が公表されました。

それに合わせ、弊社では過去の社債の問題のうち社債発行差金に係る問題を改題した上で、現在、「全経簿記上級 過去問題集 出題傾向と対策 19年7月・2月試験用」(第24版)として刊行しております。

その後、全国経理教育協会より「**社債発行差金勘定**」を**全経上級の出題範囲に残す旨**が公表されました。これにつきまして、社債発行差金勘定を用いて処理する場合の処理を以下2において記載いたしました。

誠にお手数ですが、学習にあたりご覧いただきますようお願いいたします。

なお、過去の出題傾向を見ますと、社債については通常どおり社債発行差金勘定を用いない出題が多いので、本書(過去問題集)の改題した問題を優先して学習して下さい。

2. 社債発行差金勘定を用いる場合

(1) 社債発行時

社債発行差金勘定は社債の評価勘定です。この勘定を用いる場合、社債発行時には額面金額で社債勘定(貸方)に記入し、額面金額と払込金額との差額を社債発行差金勘定(借方)に記入します。

(現金預金)	××	(社債)	×××
(社債発行差金)	×		

(2) 償却原価法適用時

社債発行差金勘定を用いた場合でも、償却原価法における償却額の計算の仕方に変わりはありません。償却原価法適用時には、社債発行差金勘定を減少させます。

(社債利息)	×	(社債発行差金)	×
--------	---	----------	---

なお、社債勘定は将来償還されるべき債務額を表し、社債勘定と社債発行差金勘定の差額は社債の貸借対照表価額を表します。

社債発行差金	社債
当期末残高 ×千円	当期末残高 (額面) ××千円
	(貸借対照表価額)

問題

以下の資料に基づいて、損益勘定と閉鎖残高勘定(社債に係るもののみ)を作成しなさい。当社の当期の会計期間は、2X08年4月1日から2X09年3月31日までの1年である。

<資料1> 決算整理前残高試算表

決算整理前残高試算表		(単位：千円)	
社債発行差金	200	社債	4,000
社債利息	80		

<資料2> 決算整理事項

社債(額面4,000千円)は、2X08年4月1日に、約定利率：年2%、利払い日：年1回3月末日、償還期限：5年のものを3,800千円で発行したものである。なお、定額法により償却原価法を適用する。

答案用紙

損		益		(単位：千円)
借方科目	金額	貸方科目	金額	
社債利息	[]			

閉鎖残高				(単位：千円)
借方科目	金額	貸方科目	金額	
社債発行差金	[]	社債	[]	

解答

損		益		(単位：千円)
借方科目	金額	貸方科目	金額	
社債利息	[120]			

閉鎖残高				(単位：千円)
借方科目	金額	貸方科目	金額	
社債発行差金	[160]	社債	[4,000]	

解説

(社債利息)	40*	(社債発行差金)	40
--------	-----	----------	----

* 償却額：(4,000千円－3,800千円)÷5年＝40千円